

身延山藏 心空上人倭點法華經

心空上人は澁谷亮泰氏の説に由れば京都白川法善寺住慈傳和尚(天台宗)であるとの事、身延山所藏本は嘉慶元年の初版本と見られる。全本の重刊本は滋賀長濱の八幡社に藏せられて居るそうであるが、けだし身延山の全本は天下一品の貴書であらふ。而も八卷完備、紙魚の厄も免がれてゐるのである。

身延山廿二代心性院日遠上人所持本として、日遠の署名と朱印が在る點より、明かに全師の參考本であつた事が推斷せられる譯である。

寫眞は、卷一の一枚と、日遠上人署名朱印ある卷三の巻尾一枚。及卷八の最後にある刊記とで刊記の次頁は白紙である。刊記の始は「法華經倭點者蓋爲本國俗男女至于龜婦販夫未通漢音者而所説也詳夫以倭字翻漢語猶以西天」より寫眞に續いて居る。

妙法蓮華經序

如是我聞一時佛住王舍城耆闍崛山中與
大比丘眾萬二千人俱皆是阿羅漢已
盡無復煩惱遠得已利益諸有結心得自在
其名曰阿若憍陳如摩訶迦葉優樓頻伽
葉伽耶迦葉那提迦葉舍利弗大目犍連摩
訶迦旃延阿菟搥跋劫賓那憍梵波提離婆
多毘陵伽婆蹉壽拘羅摩訶拘締羅難陀

介乃在末眾為說其會法顯方便力分列三乘
唯有佛乘息處說一令其眾皆得法所得非
為佛一切智當發大菩提法證一切智十力等佛
具三十二相乃是其佛滅諸佛以道師與
既知是也引入於佛法

妙法蓮華經卷第三



梵音而釋東土唐言其音字非似則
法義則大同矣而又按字俗謂之假
名字經曰但以假名字引導於眾生
是乃 約齋居士不懷假名而談實
相所以流通俸點者歟若復有人手
不執卷常誦是經則居士捨財鑄版
力也不虛矣居士法諱道儉約齋

此書嘗日製十頌之極施世法二藥
以治一切眾生身心二病六衰慶初
九丁卯佛成道日空華道人為
約齋請隨喜而頌

善法住持沙門 心空校定

東山隱衲釋 釋英繡寫

約齋居士 道儉善慈刊行